

飲食時の飛沫感染への注意喚起として 品川区が区内イベントで会食用“手に持つマスク”を無料配布

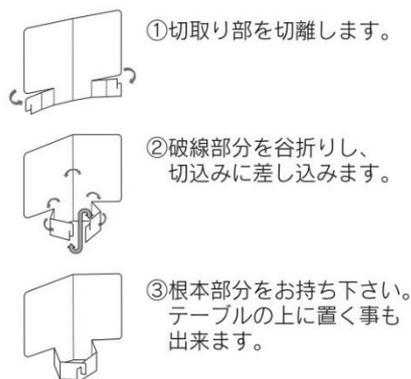
品川区（区長：濱野 健）は、2020年12月11日（金）～13日（日）に目黒駅近辺で行われるイベント『目黒街角クリスマス』（主催：目黒街角クリスマス実行委員会）で配布される、手で持ち口元を隠す紙製組み立てマスクの制作を支援しました。

新型コロナウイルス感染防止対策の一つとして、国は静かなマスク会食を推奨しています。品川区は、飲食時の飛沫感染対策の必要性を広く啓発することを目的に、紙製の“手に持つマスク”を制作支援しました。このマスクは、3日間のイベント期間中、受付にて来場者に1人1枚が配布されます。



配布される“手に持つマスク”デザイン

●手に持つマスク 組み立て手順



紙製“手に持つマスク”組み立て図



食事時の会話時には口元に添えてお使い下さい。飛沫拡散を削減しましょう。



半分に折り畳みひっかけて留められます。携帯にも便利です。

『目黒街角クリスマス』は、JR目黒駅より徒歩3分の場所にある撮影スペース・Studio EASEのオープンスペースにて2019年より開催されているイベントです。海外の路地裏マーケットのような空間を演出し、サンタクロースと一緒に写真が撮影できたり、夜はキャンドルの光などで幻想的な雰囲気が楽しめるなど様々なコンテンツにより、家族連れからカップルまで幅広い人たちに人気があります。

今年は新型コロナウイルスの影響により飲食の露店はありませんが、品川区では忘年会・新年会など会食の機会が増える年末年始に向け、飲食時の飛沫防止意識の向上を呼びかけるため、目黒街角クリスマス実行委員会と連携し本イベントでの“手に持つマスク”配布を決定いたしました。



『目黒街角クリスマス』 ※写真は2019年



“手に持つマスク”
使用時イメージ

“手に持つマスク”は、厚紙をガイドに沿って組み立てることで、簡単に作ることができる使い捨てのガードです。飲食時にマスクの耳掛けを着脱する面倒なく口元を覆うことができ、食事時の会話による飛沫の防止も期待できます。

ニューノーマルにおける日常の感染対策は、手洗い・うがいなど各個人がうつらない・うつさないための意識を持つことが重要です。品川区は“手に持つマスク”の配布が注意喚起のひとつとなることを願い、皆様の安全を守る施策に今後も取り組んでまいります。

イベント『目黒街角クリスマス』概要

- 開催日時： 2020年12月11日（金）～12月13日（日）
- 開催時間： 11日 16：00～20：00（最終入場 19:30）
12日 11：00～20：00（最終入場 19:30）
13日 11：00～19：00（最終入場 18:30）
- 入場料： 一般 ¥500 ※会場内で使用できる500円チケットをお渡しします／中学生以下 無料
- 会場： STUDIO EASE 品川区西五反田3-1-2 EASE Village（目黒駅より徒歩3分）
- 公式サイト：<https://meguromachikado-christmas.com/>
- 注意事項： ご来場の際は必ずマスク等の着用をお願いいたします。
発熱等の症状がある場合は参加をお断りする場合がございます。
社会状況に応じて、開催内容などに変更が生じる場合がございます。
“手に持つマスク”の配布は、なくなり次第終了となります
- 報道関係者内覧会：12月11日（金）14：00～ ※“手に持つマスク”も配布されます

本情報に関するお問い合わせ

株式会社ネタもと（※品川区情報発信事業受託事業者）
電話：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788 メール：pr@netamoto.co.jp
担当：黒田（携帯 080-4900-7949）